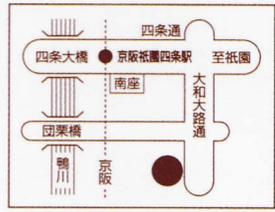


あびす神社
あびす神社

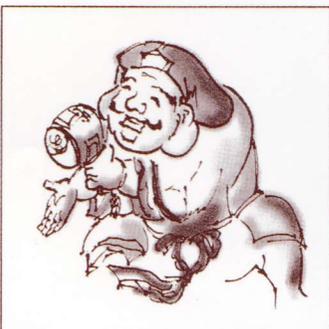
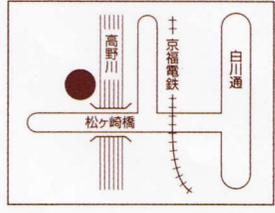
南座横の大和大路を南へ五分ほど歩くと、「京のあびすさん」として京都の人々から親しまれているあびす神社があります。鎌倉時代初期に建仁寺の鎮守社として創建されたもので、「商売繁盛」の守り神として月の十日あびすは沢山の人たちにぎわいます。また宋西禅師が無事中国から帰朝し、お祀りになったという故事から一名「旅あびす」ともいわれ、交通安全の神としても信仰を集めています。



商売繁盛・旅行安全・豊漁等の守護神で庶民救済の神といわれています。智恵を働かせ体に汗して労働に従事していれば必ずこのあびす神が福財を授けてくれます。

大黒天
松ヶ崎大黒天

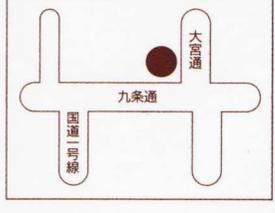
二一六年(元和二年)に建立されたもので、松崎山妙円寺が正式な正式な寺名ですが京都の人々からは「松ヶ崎の大黒さん」として親しまれています。本尊の大黒天像は伝教大師の作で開運招福の神として広く信仰を集めています。縁日は年六回の甲子祭六十日に一回と正月初子の日などに行われ、ご祈祷が授けられます。



打ち出の小槌を持ち笑みを浮かべる姿から財福の神といわれ、もともとは軍神でもありました。日本では福徳を主きみて、商売繁盛の守り神とされています。

毘沙門天
東寺

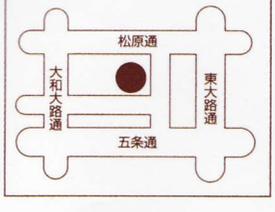
平安京造営にあたり国家鎮護のために空海が創建したもので、五重塔は現存するわが国最大の木造建築物とされています。毎月二十日には沢山の露店が軒を重なる市がたち、京都の人々から「弘法さん」として親しまれ大きなぎわいを見せています。毘沙門天は弘法大師が入唐の際に得られたもので、無量の智恵で学業成就や安産の信仰を集めています。



北方の守護神、仏教を守護する神であり、毘沙門天を信仰すると十種の福を得るとされています。菅原道真や小野道風も信仰していたといわれています。

弁財天
六波羅蜜寺

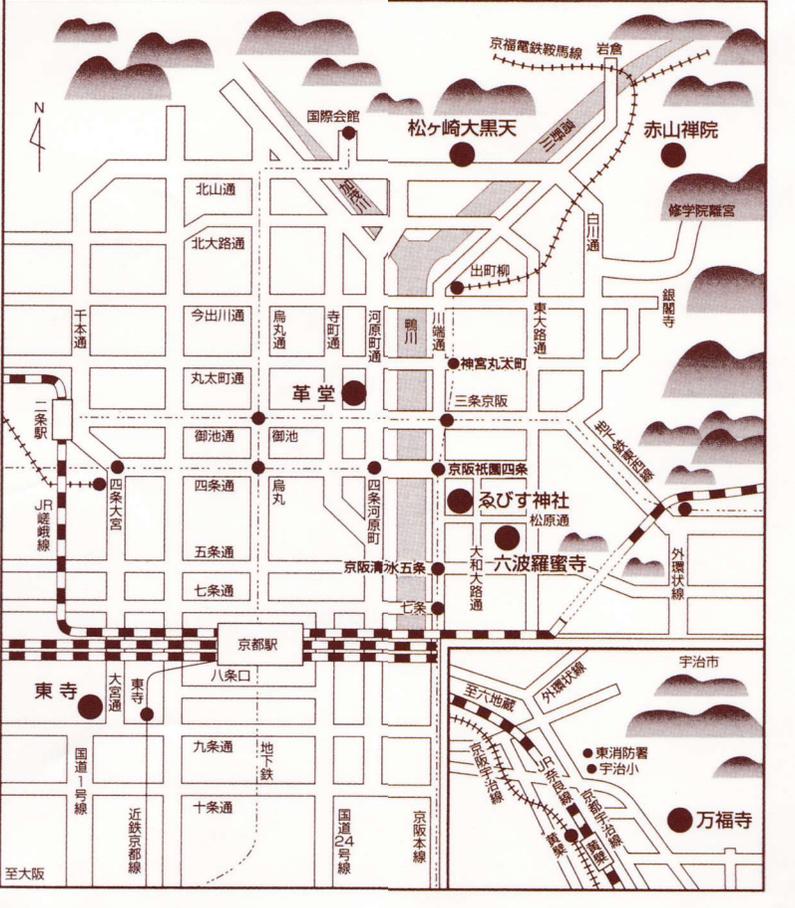
九五年(天曆五年)、醍醐天皇第二皇子である空也上人により開創された西国十七番の札所。空也上人立像や平清盛像をはじめ、平安鎌倉時代の優れた彫刻(重要文化財)が多数納められています。御奉安の弁財天は崇徳帝の夢告により禅海上人が造願された尊神で福徳自在・技芸円満極まりなしと多くの方々の鎮仰此れ久しうして今日に至っています。なお正月の三日間は弁財天初福穂が授与されます。



七福神の中で唯一の女神。水を神格化したものであり、言語や音楽の神として尊信されています。また、金運・財運の神として福徳自在のご利益とされています。

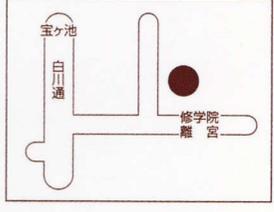
日本最古 都七福神

古来より民衆の間で信仰の篤い七福神は京都が発祥の地とされ、「都七福神」の巡拝は古くから行われていたものです。七福神の神々の力をもって福運を授かるうとする民衆の願いであり、特に新春に巡拝すると七難即滅、七福即生極まりなしといわれ、功德が大きいとされています。



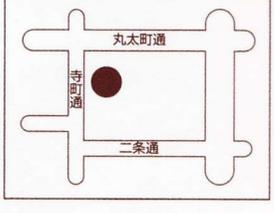
福祿寿神
赤山禅院

慈覚大師の遺言によって創建された天台宗総本山・比叡山延暦寺の塔中です。本尊の泰山府君(赤山明神)は京都御所の表鬼門に祀られ、方位の守護神として朝野の厚い尊敬をあつめています。また、懸(かけ)よせ(集金)の神としての信仰も厚く、洛北の豊かな自然に囲まれた境内は、特に紅葉の名所として沢山の人が訪れます。



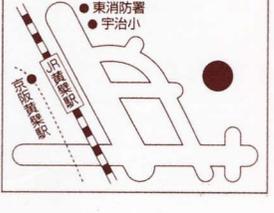
寿老神
革堂

平安初期、行円上人によって開かれたもので、観音靈所西国三十三所の十九番札所です。開基当時、一条通にあったものを「天下太平福寿円満」を祈る太閤秀吉により現所に移築されました。本尊である寿老神の御真言を、一日三回唱えらる福寿吉運が授かるといわれ、長寿を願う沢山の善男善女が初詣や月まいりに訪れています。



布袋尊
万福寺

江戸初期、中国から渡来した隠元禪師が中国の黄檗山を模して創建した黄檗宗の大本山で、中国明朝様式の伽藍配置がなされています。開祖隠元の来日は日本の仏教に新風を吹き込むと同時に、建築や仏像・書画・普茶料理などの様々な文化も同時にもたらした煎茶道の祖・売茶翁を祀る売茶堂があります。祀られている布袋尊は范道生作で、特に傑作といわれています。



南極星の精・奉山府君を人格化した神で、幸福・高禄・長寿の三徳をあたえられるとされ、商売繁盛・延寿・健康・除災を祈願します。



中国の老子が天に昇ってなったという仙人の姿。三千年の長寿を保つ玄鹿を従え、人々の難を払う団扇を持っていることから、福財・子宝・諸病平癒・長寿の功德ありといわれています。



中国・唐の時代に実在した僧契此がルーツとされ、中国では弥勒菩薩の化現として信仰されています。

- 毎月7日は都七福神のご縁日です。
- 御宝印は毎日受け賜っております。(午前9時～午後4時)

都七福神御巡拝に際しまして、各社寺にて御軸・大護符(色紙)・御宝印帖をご用意いたしておりますので、お気軽にお問い合わせください。
※毎年元旦より一月末まで定期観光バスが運行されております。

都七福神事務局／六波羅蜜寺
〒605-0813 京都市東山区松原通大和大路入ル2丁目
TEL.075-561-6980